

保育園自己評価表

2024年度（令和6年度）

社会福祉法人 敬愛福祉会
マーヤ敬愛保育園

【評価 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する】

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
◎保育の計画の編成と実施に関する評価						
保育理念・目標について	保育理念・目標について理解し、職員会議や研修等で説明が出来る。		○			・ 保育理念・目標について理解しているが個人差がある状況。日常から意識できるように心掛けたい。 ・ 保育所保育指針を振り返り時などに活用が出来ていないことが多い。 ・ 子どもの育ちを見ながら、目標を設定している。
	保育所保育指針と保育理念・保育目標の関係を理解し、保育課程を作成している。		○			
	保育の目標を達成するためにねらいがあり、ねらいをより具体化したものが指導計画であり、保育の目標であることを理解している。		○			
	保育理念・目標は全職員で検討し、かつ共通理解をはかっている。		○			
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。		○			・ 計画に基づき保育室の環境を工夫し、子どもたちが興味をもって活動に取り組めるようにしている。 ・ 材料用具意を用いて活動を行い、表現する事を楽しむ事が出来た。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。		○			
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	○				
	素材・用具を適切に活用している。		○			
	評価結果を基に、保育の改善に努めている。		○			
日時程	一日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良い。		○			・ 臨機応変に対応できている為、問題無し。
行事について	行事の種類や実施回数は適切である。	○				・ 行事計画案を立てる際に、ねらいを明確にしている。 ・ 保護者に日常の保育が伝わるような内容を設定し、行事を通して安心して園に通える、雰囲気作りをしている。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	○				
	乳幼児活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○			
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○				
	保護者の意見や願いを取り入れている。		○			
食育について	食育の計画を作成し、より良い食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めている。		○			・ 栄養士との交流や年齢に合わせた、クッキングや食材を使っの、感触遊びが出来た。野菜の栽培を行い、興味関心も持つことができた。
	クッキングを通して乳幼時期に、食物に関心をもって、食事が展開されるよう努めている。	○				

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価							
経営・組織	分掌体制	職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	○				・見通しをもって計画的に進められる職員が増えてきた。 ・リーダーシップをとる姿もみられる。
		職員の配置は適材・適所になっている。	○				
		係や仕事の分担・割り当ては適切である。	○				
	運営	各種会議を適切かつ効率的に進めている。	○				・職員間の連携やコミュニケーションを大切にし、こまめな連絡事項を共有した。 ・会議記録をしっかりと取り周知していった。
		職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営に関わっている。		○			
		打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。	○				
	年齢別・クラス経営	年齢別・クラス目標は、全体的な計画や保育目標に基づいて設定している。		○			・クラス運営は概ね達成しつつ、異年齢との交流も積極的に行い、共に育ちあうことを大切にした保育を心掛けた。
		年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定している。		○			
		同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っている。		○			
		意義や趣旨を理解したチーム保育を行っている。		○			
		評価、資料（諸記録）を集積している。	○				
	保健・安全指導	保育園は子ども一人一人と集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを理解している。	○				・概ね達成出来ている。 ・警察主催の交通安全教室を園内で開催し、信号の正しい見方や道路の正しい渡り方を学んだ。 ・感染症などの発症時には、掲示やアプリ機能をつかって、感染拡大防止に努めた。
		避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	○				
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	○				
		乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	○				
研究・研修	園内	研修の計画・運営は個別策定するなど職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	○				・園内研修をバランスよく保育内容に沿って行い、保育の現場で生かせられるようにした。
		保育の課題等への共通理解や協働性を高め、保育所全体としての保育の質の向上に向けた職場内研修が充実している。	○				
	園外	外部研修については、情報提供が適切に行われ、階層別研修・職種別研修・テーマ研修等の取り組みが充実している。		○			・外部研修は随時希望者は参加できるようにした。また研修報告を行い研修内容を周知した。

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
施設・整備		施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	○				・概ね、達成している。
		遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している。		○			
		不審者等に対応する周知な配慮を行っている。		○			
		掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	○				
開かれた保育所づくり	家庭・子育て支援 ・地域社会	保護者参観日等を設定している。	○				・保護者懇談会を行い、子育てなどの意見交換ができた。 ・未就園児対象に子育て広場を実施し、あそび場の提供と育児相談を行った。 ・地域の親子広場にスタッフとして参加した。
		地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れる取組みがある。		○			
		園庭開放や保育の相談等に取り組んでいる。	○				
	情報の発信	園便り、クラス便り、ホームページ等で施設の情報を発信している。	○				・概ね、達成出来ている。 ・システムの更なる活用を今後も検討していく。
	外部評価	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	○				・概ね、達成している。

《保育園評価》

- 子どもたちが安心して楽しく過ごせるように、環境や遊びの設定することができた。子ども一人ひとりに寄り添える、職員が余裕をもって関われる環境を作った。
- ヒヤリハット報告を活用し、危機管理体制を整えて、重大事故が起こらないように全職員で勤めることが出来た。
- 保護者との連絡ツールを活用し、保育活動等を発信して保護者の方が安心してお子さんを預けられるよう努めた。